

2025 年度
東京都立大学大学院
都市環境科学研究科
【博士前期課程】

10 月入学学生募集要項
(入学日:2025 年 10 月 1 日)
<夏季入試>

地 理 環 境 学 域
都市基盤環境学域
建 築 学 域
環境応用化学域
観 光 科 学 域
都市政策科学域



TOKYO
METROPOLITAN
UNIVERSITY

目 次

〈全学域共通事項〉

1	入学試験日程	1
2	募集人員	1
3	指導教員及び研究分野	2
4	出願資格	6
5	出願資格審査（飛び入学等）	7
6	事前協議（受験及び修学に際して特別な配慮を希望する方）	8
7	出願手続書類	9
8	外国語（英語）の試験について	11
9	入学考査料の納入について	13
10	試験日程等	14
11	入学手続、入学料及び授業料等	15
12	過去に出題された問題の閲覧及び入手方法について	15
13	長期履修制度について	15

〈各学域別試験日程、注意事項等〉

・ 地理環境学域	17
・ 都市基盤環境学域	18
・ 建築学域	19
・ 環境応用化学域	22
・ 観光科学域	22
・ 都市政策科学域	23

※試験の実施に関して今後変更が生じた場合、下記サイトにて周知します。

大学及び都市環境科学研究科のウェブサイト을隨時ご確認いただくようお願いいたします。

東京都立大学 入試案内



（「大学院新着入試情報」を
をご参照ください）

<https://www.tmu.ac.jp/entrance.html>

都市環境科学研究科



（「新着情報&お知らせ」を
をご参照ください）

<https://www.ues.tmu.ac.jp/>

都市環境科学研究科のアドミッションポリシーについては、本学ウェブサイトをご覧ください。

東京都立大学ウェブサイト>>トップ>>入試案内>>大学院入試>>アドミッションポリシー>>都市環境科学研究科

https://www.tmu.ac.jp/entrance/graduate/admission_policy/ues.html

1 入学試験日程

以下の日程のうち、各学域の指定する日時

2025年7月24日（木）～7月25日（金）

＜予備日：7月31日（木）、8月1日（金）＞

（予備日は、不測の事態により選考日に試験を実施できない場合のために設定しています。）

日程・時間等の詳細は、p.17～p.24 の、各学域のページを必ず参照してください。

2 募集人員

学 域 名	募集人員
地理環境学域	若干名
都市基盤環境学域	若干名
建築学域	若干名
環境応用化学域	若干名
観光科学域	若干名
都市政策科学域	若干名

（注意）

- (1) 都市環境科学研究科では、当研究科内の複数学域への併願は認めません。
- (2) 筆記試験免除制度の詳細は、各学域にお問い合わせください。
- (3) 都市政策科学域の社会人特別選抜については p.24 の「受験希望者の方へ」をご参照ください。
- (4) 4月入学については、別途募集要項を掲載しています。

3 指導教員及び研究分野

- (1) ●印は 2025 年度末までに、★は 2026 年度末までに、◎は 2027 年度末までに、☆は 2028 年度末までに退職予定の教員です。●印の教員については、原則募集を行いません。
- (2) 右端の 101、102・・・の数字は、入学願書の志望分野欄に記入するコードです。
- (3) 出願を希望する方は、事前に志望分野の指導教員に研究題目等について相談の上、出願手続きをしてください。指導教員のメールアドレスについては、東京都立大学ウェブサイト内「教員紹介 (<https://www.tmu.ac.jp/stafflist.html>)」をご確認ください。

なお、希望する指導教員のメールアドレスがウェブサイトに記載されていない場合は、都市環境学部教務係 (fues-k@jmj.tmu.ac.jp) まで、教員宛のメールをお送りください。都市環境学部教務係から教員へメールを転送いたします。

学域	分野	指導教員	研究内容	コード
地理環境学域	地形・地質学	教 授 鈴木 毅彦◎ 准教授 白井 正明	地形学、第四紀学、火山学、火山灰編年学、地震地質学、堆積学	101
	気候学	教 授 飯島 慈裕 准教授 高橋 洋	気候変動解析、都市気候学、モンスーン気候学、気候環境論、大気－陸面相互作用	102
	環境地理学	教 授 川東 正幸 教 授 吉田 圭一郎	土壌地理学、地圏生態環境、農業・森林生態系の物質循環、環境動態解析、環境保全・修復、植生地理学、生物地理学、人と自然とのかかわり	103
	地理情報学	教 授 松山 洋	自然地理情報解析 (GIS)、数理地理モデリング、リモートセンシング	104
	都市・人文地理学	教 授 矢部 直人 准教授 滝波 章弘 准教授 田中 雅大	計量地理学、社会地理学、経済地理学、都市地理学、行動地理学、文化地理学、GIS	105

学域	分野	指導教員	研究内容	コード
都市基盤環境学域	社会基盤	教 授 小根山 裕之	交通工学、交通計画、交通環境、交通シミュレーション、交通ネットワーク解析	201
		教 授 村越 潤◎	橋梁工学、橋梁設計の合理化、既設橋梁の耐荷性・耐久性評価、補修・補強	202
		准教授 石倉 智樹	都市・地域・国土計画、社会資本政策、空間経済分析、応用一般均衡分析	203
		教 授 中村 一史	構造工学、橋梁工学、ケーブルを用いた合理化橋梁、インフラ構造物への新素材の適用、既設構造物の補修・補強	204
	環境システム	教 授 横山 勝英	環境水理学、河口域の土砂動態と地形形成、ダム貯水池や内湾の水理・水質	205
		教 授 今村 能之◎	洪水リスクマネジメント、都市型水害、河川流域管理、国際的な水・防災政策	206
		准教授 荒井 康裕	上水道システム、並びに廃棄物処理・資源循環に関する計画論的な研究	207
		准教授 酒井 宏治	上水道、下水道、水質保全、水域管理のための水処理	208
		准教授 新谷 哲也	海岸海洋工学、数値流体力学、可視化計測、密度流解析	209

	安全防災	教 授	砂金 伸治	トンネル工学、地下空間工学、トンネル本体工・付属施設の設計手法、維持管理手法	210
		教 授	小田 義也	物理探査、主に地震波を用いた地下構造探査手法の開発と適用、地震・火山防災	211
		准教授	吉嶺 充俊●	土質力学、土質実験、地盤の液状化、斜面・盛り土の安定問題、土質動力学、土砂の移動と堆積	212
		准教授	上野 敦	コンクリート工学、環境に貢献するコンクリート、コンクリート用材料の特性評価と応用	213
		准教授	大野 健太郎	コンクリート構造物の維持管理、非破壊検査、点検・診断技術、コンクリートの破壊性状	214

学域		分野	指導教員		研究内容	コード
建築学域	基盤研究コース	建築計画・都市計画	教 授	吉川 徹◎	都市解析、土地利用計画、公共施設最適配置、都市空間解析	301
			教 授	竹宮 健司	地域公共施設計画、高齢者福祉施設、地域生活支援施設、環境行動研究	302
			教 授	鳥海 基樹	都市計画・設計、景観計画・設計、都市／自然論・史、歴史的環境保全	303
		建築歴史・意匠	教 授	小泉 雅生☆	建築設計、住宅計画、意匠設計、設計論	304
			准教授	伊藤 喜彦	西洋建築史	305
			准教授	仲 俊治	建築デザイン、地域デザイン、居住都市論	306
		建築生産	准教授	林 盛	建築生産、構法計画、建築設計手法、デジタルアプリケーション	307
			准教授	國枝 陽一郎	建築材料、建物解体・廃棄物利用、BIM/CAD シミュレーション	308
		建築構造	教 授	北山 和宏★	鉄筋コンクリート構造の理論、耐震構造およびその力学特性の解明	309
			教 授	高木 次郎	構造設計、鋼構造、構造システム開発	310
			准教授	多幾山 法子	木質構造、建築振動学、建築保全再生学	311
			准教授	壁谷澤 寿一	耐津波設計、鉄筋コンクリート構造、基礎と地盤の相互作用	312
		建築環境	教 授	永田 明寛☆	建築環境学、環境建築システム、熱環境シミュレーション	313
			教 授	一ノ瀬 雅之	建築設備、都市・建築環境、建築設備システム開発・検証	314

学域	分野	指導教員	研究内容	コード
環境応用化学域	先端機能物質分野	教 授 川上 浩良● 准教授 佐藤 潔 准教授 山登 正文 准教授 田中 学	高分子分離膜、高分子電解質膜、ナノファイバー工学、超分子触媒、バイオミメティック、バイオマテリアル、エビジェネティクス工学、細胞工学、エンジニアリングエクソソーム、高分子高次構造制御、外部場物性制御、イオン性有機機能材料、機能性金属錯体、高分子エネルギー材料、燃料電池、二次電池、水電解	401
		教 授 朝山 章一郎 准教授 上田 一樹	バイオマテリアル、ドラッグデリバリーシステム、医用高分子、生体分子工学、生化学、超分子化学、分子集合体化学、ソフトマター、生体高分子、医工学、生命科学	402
	先端物質デザイン分野	教 授 久保 由治●	機能性超分子、エネルギーデバイス用色素、化学センサー、光機能材料、色素増感光触媒	—
		教 授 瀬高 渉	分子機械、柔軟大環状化合物、トポロジー構造化学、典型元素機能化学、ナノセンシング分子、機能性 π 電子系	403
		准教授 石割 文崇	有機化学、高分子物性、超分子、結晶工学、キラリティー（不斉）、不斉機能、不斉光学特性、不斉誘起スピン選択性（CISS）	404
	エネルギーデバイス分野	教 授 梶原 浩一	光・電子機能性セラミックス・ガラス・有機-無機ハイブリッド、無機系材料の低環境負荷合成、無機系材料による高効率エネルギー変換	405
		教 授 柳下 崇 准教授 池澤 篤憲	電気化学プロセスによるナノ規則構造の形成、精密ろ過フィルター、エネルギーデバイス、高密度記録材料、光デバイス、コロイド・界面化学	406
	環境分子化学分野	教 授 高木 慎介	ナノ構造化学、光化学、再生可能エネルギー、人工光合成、ナノ機能性色素材料、粘土鉱物、無機/有機複合体、光化学プロセス、計算化学	407
	分子計測化学分野	准教授 中嶋 秀 准教授 加藤 俊吾	マイクロ化学分析システム、化学センサー、バイオセンサー、クロマトグラフィー、キャピラリー電気泳動、大気化学、大気環境計測	408
	環境調和化学分野	教 授 穴戸 哲也 准教授 三浦 大樹	環境浄化触媒、環境に負荷をかけない高効率物質変換システム、エネルギー変換触媒、選択的有機分子変換、酸塩基触媒、担持金属触媒	409
	先端触媒反応分野	教 授 天野 史章	光触媒、光電極、電極触媒、再生可能エネルギーからの燃料および化学品の製造、エネルギーキャリア	410

学域	分野	指導教員	研究内容	コード
観光科学域	観光科学	教 授 清水 哲夫 教 授 川原 晋 准教授 岡村 祐	地域計画・マネジメント学；観光まちづくり、都市・農村計画、観光計画、交通学、社会基盤学、都市・地域デザイン、都市・建築史、地域運営	501
		教 授 仁平 尊明 教 授 沼田 真也 准教授 大澤 剛士	自然環境マネジメント学；ルーラルツーリズム、エコツーリズム、自然資源利用、人文地理学、環境教育、熱帯生物学、保全科学、保護地域管理、生物多様性情報学、生態系管理学	502
		教 授 日原 勝也 教 授 相原 健郎 准教授 倉田 陽平 准教授 Wu Lingling	行動・経営科学；観光政策論、観光学原論、時空間行動科学、観光心理学、観光情報学、観光経済学	503

学域	分野	指導教員	研究内容	コード
都市政策科学域	都市空間分野	准教授 山村 崇	都市と産業、産業地域デザイン、都市・地域計画、圏域的計画論、知識創造産業	601
		教 授 伊藤 史子	都市・地域計画と評価、都市・地域解析、都市環境心理・行動分析	602
		教 授 饗庭 伸	都市計画、まちづくり、都市デザイン、都市計画制度、ワークショップ手法	603
		教 授 市古 太郎	都市計画、都市防災、災害復興、防災科学	604
		教 授 朝日 ちさと	環境経済学、都市・地域経済学、政策評価、費用便益分析、社会資本整備の評価	605
	都市制度分野	教 授 奥 真美	環境法政策、都市政策法務、行政法、地方自治法	606
		教 授 白石 賢★	法と経済学、経済刑法、企業犯罪、行動経済学、認知心理、幸福度	607
		— —	—	608
		教 授 松井 望	行政学、都市行政論、都市経営論、行政管理論、公務員制論	609
		准教授 長野 基	行政学、地方自治論、ローカル・ガバナンス、行政評価、比較地方自治	610
	都市社会分野	准教授 大槻 茂実	都市社会学、地域社会学、社会階層論、多文化共生、社会調査法（量的・質的いずれも含む）	611
		教 授 杉原 陽子	健康社会学、社会老年学、公衆衛生学、高齢者保健福祉政策、精神保健、地域福祉	612
		准教授 山本 薫子	都市社会学、地域社会学、大都市インナーエリア、エスニック・コミュニティ、社会調査法	613

4 出願資格

「4 出願資格」の(1)から(10)のいずれかに該当する者

ただし、(9)または(10)に該当する者は、事前に出願資格審査を行います(p.7「5 出願資格審査」参照)。

- (1) 日本の大学を卒業した者又は2025年9月までに卒業見込みの者(*1)
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定(大学改革支援・学位授与機構)により学士の学位を授与された者又は2025年9月30日までに授与される見込みの者(*2)
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年9月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年9月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び2025年9月までに修了見込みの者(*3)
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者又2025年9月30日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)の修了者又は2025年9月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)(*4)
- (9) 2025年9月末の時点で大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、若しくは我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、大学院の本研究科の教授会においてあらかじめ定めた単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者(*5)
- (10) 本学大学院(本研究科)において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳(2025年10月1日現在)に達した者(*6)

*1…学校教育法第83条の大学

*2…入学手続時に学位授与機構による学位授与証明書の提出が必要です。

*3…テンプル大学ジャパン卒業(見込)者など

*4…防衛大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校の卒業(見込み)者など

*5…いわゆる「飛び入学」のことで、「4 出願資格」の(1)から(8)までの者は該当しません。なお、事前に出願資格審査が必要です。

*6…短期大学、高等専門学校、専修学校等の卒業者及びその他の教育施設の修了者など。事前に出願資格審査が必要です。

なお、高等専門学校又は短期大学のうち、学位授与機構による認定専攻科の修了者又は修了予定者は出願資格(2)にあたり、出願資格審査は必要ありません。

5 出願資格審査(該当者のみ)

全学域について、上記「4 出願資格」の(9)、(10)で出願するには、事前の出願資格審査が必要です。

また、都市政策科学域の社会人特別選抜試験に出願するためには、事前の出願資格審査が必要な場合があります。p.24「都市政策科学域『社会人特別選抜』受験希望者の方へ」をご確認ください。

提出期限を過ぎての書類の提出は受け付けませんので、提出方法と受付期間に注意してください。

(1)「4 出願資格」の(9)、(10)による出願資格審査について

① 提出書類

出願資格審査には以下の書類を提出してください。なお、審査の結果は申請者宛てに通知します。

<「4 出願資格－(9)」(飛び入学)に該当する方>

- ア 出願資格審査調書(本研究科所定様式、ウェブサイトからダウンロード)
 - イ 履修状況調書(本研究科所定の様式、ウェブサイトからダウンロード)
 - ウ 申請時点での成績証明書(原本)
 - エ 申請者の宛先を明記した封筒(長形3号、たて23.5 cm×よこ12.0 cm。速達料金を含む410円(料金が改定された場合は改定後の料金)分の切手を貼付してください。
審査結果を本研究科から志願者に送付する際に使用します)
- *「飛び入学」は各学域で資格要件がありますので、出願資格審査を受ける前に受験を希望する学域にご相談ください。

<「4 出願資格－(10)」に該当する方>

- ア 履歴書(本研究科所定様式、ウェブサイトからダウンロード)
- イ 最終学歴卒業(見込)証明書(原本)
- ウ 最終学歴成績証明書(原本)
- エ 志望理由書(本研究科所定様式、ウェブサイトからダウンロード)
- オ 申請者の宛先を明記した封筒(長形3号、たて23.5 cm×よこ12.0 cm。速達料金を含む410円(料金が改定された場合は改定後の料金)分の切手を貼付してください。
審査結果を本研究科から志願者に送付する際に使用します)

② 受付期間

2025年5月15日(木)から 5月22日(木)まで(5月22日必着)

③ 提出先

東京都立大学 都市環境学部教務係(〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1)

*「簡易書留」及び「速達」扱いにして郵送することとし、封筒(角形2号。A4サイズが折らずに入る大きさ)の表面左脇に「都市環境科学研究科 博士前期課程 出願資格審査申請(*1)」と明記してください。

(*1)・・・前頁「4 出願資格-(9)」による場合は「9」と記載してください。

「4 出願資格-(10)」による場合は「10」と記載してください。

④ 出願資格審査書類の所定様式について

都市環境科学研究科ウェブサイト(https://www.ues.tmu.ac.jp/review_application.htm)

- 1) よりダウンロードしてください。

6 事前協議(該当者のみ)

本学では、障がい等のある者が、受験上及び修学上不利になることがないように合理的配慮を行っております。受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、事前に下記要領で申し出てください。出願前に事前協議を行います。

(1) 申出期間

2025年5月15日(木)から 5月22日(木)まで(5月22日必着)

(2) 申出書掲載箇所及び申出先

申出書は、都市環境科学研究科ウェブサイト (<https://www.ues.tmu.ac.jp/graduate.html>) 内「事前協議」からダウンロードしてください。

また、申出先は以下の通りです。

東京都立大学 都市環境学部教務係

(電話：042-677-1111 内線 4026 メールアドレス：fues-k@jmj.tmu.ac.jp)

電話での受付時間は、**平日 10:00～12:00 及び 14:00～17:00** です。

なお、質問及び相談については上記申出期間前でも受け付けます。

7 出願手続書類

出願に必要な書類は以下のとおりです。

出願を希望する方は、事前に志望分野の指導教員に研究題目等について相談の上、必ず出願手続をしてください。

<全学域共通>

	出 願 書 類	注 意 事 項 等
全 員 提 出	①入学願書	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・「志望分野」は、第一志望、第二志望それぞれにコード（p.2-5の「3 指導教員及び研究分野」を参照）を記入してください。 （例：第一志望コード 101 第二志望コード 105）
	②受験票・写真票及び入学考査料納入証明書貼付用台紙	・本研究科所定の様式。各々は切り離さずに提出してください。 ・写真は、出願以前3ヶ月以内に正面、無帽で上半身を撮影したもので、過度な加工は行わないこと。（たて4cm×よこ3cm）
	③入学考査料の納入を証明する以下のどちらかの書類 ア 収納証明書 イ Result Page ※アの場合は②最下部の「入学考査料納入証明書貼付用台紙」に貼付	①p.13「9 入学考査料の納入について」及び別紙の「入学考査料払込方法」を参照の上、E-支払いサイトにて、期限内に納入してください。 ②p.13「9 入学考査料の納入について」の指示に従い、左記の ア 収納証明書またはイ Result Pageを提出してください。 ※入学考査料は30,000円です。 ※出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学考査料は返還しません
	④成績証明書	・出身大学の学長又は学部長が作成したもの（原本以外のコピー等は認められません）。
	⑤卒業（見込）証明書	・外国の学校又は機関等により日本語・英語表記以外で発行された書類には、日本語訳又は英語訳を添付してください。
	⑥受験票（及び外部英語試験スコア）送付用封筒	・長形3号サイズの封筒1枚。封筒のおもて面には、受験票を受け取ることが可能な宛先の郵便番号、住所及び氏名を明記し、410円（料金が改定された場合は改定後の料金）分の切手（速達料金含む）を貼付してください。 ・外部英語試験スコアとして、TOEICまたはIELTSスコア原本を提出する場合は、出願期間後、受験票と共に返送いたします。
	⑦連絡用宛名カード及び連絡先登録フォーム	・入学手続書類等の諸事項について連絡・通知が必要となった場合に使用します。郵便物が確実に届く住所を記入してください。 ・出願後に住所の変更があった場合は、速やかに都市環境学部教務係に届け出るとともに、郵便局で郵便物転送のための手続を行ってください ・連絡用宛名カード書面はA4サイズで印刷してください。 ・下部QRコード又はURLより連絡先を登録後、□にチェックの上、ご提出ください。 ・安全保障輸出管理のため、外国籍の方は外国籍者用のQRコード又はURLよりご入力ください。
該 当 者 の み 提 出	⑧外部英語試験スコア（地理環境学域以外）	詳細については、p.11「8 外国語（英語）の試験について」を確認してください。
	⑨学位取得（見込）証明書（原本）又は「出願資格（3）又は（4）による志願者調査票」	出願資格（3）、（4）又は（6）の方は学士の学位（見込）取得証明書（原本）を提出してください。ただし、出願資格（3）又は（4）の方で学士の学位を授与されていない方又はされる見込みがない方は、「出願資格（3）又は（4）による志願者調査票」を提出してください。
	⑩「出願許可証」の写し	出願資格審査を受けて「出願許可証」を交付された方はその写しを添付してください。
	⑪長期履修申請書及び長期履修が必要であることを証明する書類	入学時から長期履修制度の適用を希望する者は、p.15「13 長期履修制度について」及び研究科ウェブサイト（ https://www.ues.tmu.ac.jp/graduate.html ）に掲載の「長期履修制度について」を熟読し、必要書類を提出してください。申請書も、上記ウェブサイトからダウンロードできます。なお、事前に必ず指導予定教員に申請書を提示し、署名及び押印を受けてください。

外国籍の方のみ提出	⑫在留カードの写し	外国籍の方のみ提出。 在留カード（出願時点で有効期限内のものに限る）の両面コピーを提出してください。 なお、日本国内で住所が定まっていない方は、パスポートの身分事項記載ページの写しを提出してください。
	⑬留学ビザ取得・更新サポート申込書	本学国際課所定様式。外国籍の方のみ提出。（ただし在留資格が「永住」の方を除く） 「自署」欄に必ずボールペン又はサインペンで記入の上、提出してください。

現在、他大学に在籍する国費外国人留学生（大使館推薦または国内採用）で、本学への進学を希望する場合は、出願時に国費奨学金の受給証明書を提出すること。なお本学への進学も含め、上位課程への進学の際に必要な「奨学金支給期間の延長申請」については、現所属の大学に確認すること。

＜学域別＞該当する学域の志願者のみ提出してください。

学域名	出 願 書 類	注 意 事 項 等
地理環境学域	研究計画書	本研究科所定様式
都市基盤環境学域	志願調査書	本研究科所定様式
建築学域	研究計画書	本研究科所定様式
	10月入学出願同意書	本研究科所定様式
環境応用化学域	志望調査書	本研究科所定様式
都市政策科学域	口頭試問面接票	本研究科所定様式
	研究希望調査書	本研究科所定様式

〔注意事項〕

- ・出願書類の「本研究科所定様式」は、本学ウェブサイトよりダウンロードしてください。
- ・出願書類様式の記入は、手書きまたは Word・Excel 版入力 of のどちらでも差し支えありません。
- ・手書きの場合は、本募集要項の末尾に掲載されている様式類を印刷し、ご記入ください。記入にあたっては、黒ボールペン又はサインペンで記入してください。鉛筆やシャープペンシル、消せるボールペンは使用しないこと。
- ・Word・Excel 版を利用して記入する場合は、本要項と同ページに掲載されている Zip ファイルをダウンロードのうえご利用ください。不足書類がないよう、必ず PDF 版の様式類を参照しながら作成すること。
- ・本研究科所定様式は、可能な限り両面印刷してください。
- ・出願書類のうち、事前の出願資格審査で既に本研究科に提出済みのものについては、再提出は不要です。
- ・外国の学校又は機関等により日本語・英語表記以外で発行された書類には、日本語訳又は英語訳を添付してください。
- ・出願書類等に不備がある場合は受け付けません（不受理となります）。
- ・宅配便、バイク便等での提出は受け付けません。また、いかなる場合も直接出願は認めません。
- ・受理された書類はいかなる理由があっても返却しません（外部英語試験スコア原本を除く）。
- ・東京都立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「東京都立大学法人安全保障輸出管理規程」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を行っています。規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、注意してください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理のホームページを参照してください。
<https://www.tmu.ac.jp/cooperation/compliance/exportcontrol.html>
- ・入学許可後であっても受験中あるいは出願手続に不正があったと認められた場合には、入学許可を取り消します。

8 外国語(英語)の試験について

- (1) 地理環境学域を除く学域では、英語筆記試験に代わり、学域ごとに定めるテストのスコアを提出していただきます。＜別表1＞及び【スコア提出に係る注意事項】を必ず確認の上、出願時にスコアを提出してください。**提出が確認できない場合には、外国語(英語)を受験しなかったものとみなします。**
- (2) 各学域の筆記試験実施日から過去2年以内に受験したスコアが有効です。
- (3) 筆記試験免除対象者及び都市政策科学域の社会人特別選抜受験者はスコアの提出は不要です。

＜別表1＞

	TOEFL	TOEIC	IELTS
地理環境学域	外国語(英語)については筆記試験を実施するため、スコアの提出は不要。		
都市基盤環境学域	○	○	×
建築学域	○	○	×
環境応用化学域	○	○	×
観光科学域	○	○	○
都市政策科学域	○	○	○

【スコア提出に係る注意事項】

■TOEFL スコアを提出する場合（都市基盤環境学域、建築学域、環境応用化学域、観光科学域、都市政策科学域）

以下の2点を提出してください。

- ①TOEFL 実施機関（ETS）から本人宛てに送付された“Test Taker Score Report”（郵送による受験者用控スコアレポート）の写し
出願時に提出してください。

※“Test Taker Score Report”（郵送による受験者用控スコアレポート）は、1通分受験料に含まれていますが、オンラインでのテスト申込み時に My Home Page のスコア通知設定（Score Reporting Preference）ページで「オンライン上でのスコアレポートと郵送されたコピー」を選択しないと発行、送付されません。（2025年4月現在）

- ②TOEFL 実施機関（ETS）から本学あてに直送された“Official Score Report”

TOEFL 実施機関（ETS）に Official Score Report を請求し、**各学域の試験初日の3営業日前**までに本学へ届くよう手続きをしてください。（東京都立大学のコード番号は「7169」）

Official Score Report が本学に到着するまで、申請から2か月以上かかる場合もあるため、余裕を持って手続きをしてください。

なお、スコアレポートの送付手続方法や、送付にかかる期間については、必ず最新情報を実施機関のウェブサイト等で確認してください。

【参考】https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/toefl_ibt/index.html (TOEFL テスト日本事務局サイト)

＜注意＞

TOEFL-iBT のスコアが有効。ただし、TOEFL-iBT Home Edition、TOEFL-ITP（団体テスト）は不可。

■TOEIC スコアを提出する場合

(都市基盤環境学域、建築学域、環境応用化学域、観光科学域、都市政策科学域)

以下の①②のうちどちらかを出願時に提出してください。

① Official Score Certificate(公式認定証)の原本及び写しを各1通

原本は、受理済みの受験票と併せて返送します。

② Digital Official Score Certificate (デジタル公式認定証)を印刷したもの1通

QRコードを用いて真正性を確認しますので、必ずQRコードが記載されていることをご確認ください。

<注意>

- ・ TOEIC Listening & Reading 公開テストのスコアが有効。
- ・ TOEIC IP テスト、TOEIC Speaking & Writing Tests、TOEIC Speaking Test、TOEIC Writing Test、TOEIC Bridge Test は不可。

■IELTS スコアを提出する場合 (観光科学域、都市政策科学域)

スコアの原本及び写しを出願時に提出してください。

原本は、受理済みの受験票と併せて返送します。

<注意>

アカデミックモジュールのスコアが有効。ジェネラル・トレーニング・モジュールは不可。

9 入学考査料の納入について

期間内に以下のとおり入学考査料を納入してください。なお、別途手数料がかかります。

Web (E-支払いサイト) による支払

詳細は、別紙の「入学考査料払込方法」をご覧ください。

- ①まずは Web で事前申込みをしてください。画面の指示に従って必要事項を入力すると、納入に必要な番号が取得できます。
- ②コンビニエンスストアでのレジ払いを利用された場合には、入学検定料・選考料取扱明細書を必ずレジにて受け取ってください。
それ以外のオンライン決済（クレジットカード等）を利用された場合には、E-支払いサイトトップ画面から収納証明書（英語サイトの場合は“Result Page”）を印刷してください。
- ③出願の際には、「収納証明書」を切り取り、「入学考査料証明書貼付用台紙」に貼付して提出してください。なお、英語サイトからの支払いで“Result Page”を印刷した場合には、「入学考査料証明書貼付用台紙」には貼付せず、そのまま提出してください。

*「取扱明細書」はご自身の控えとして大切に保管してください。また、E-支払いサイトから印刷した場合も、控えをご自身で保管ください。

(注意)

E-支払いサイトにおける手順等に関する質問については、同サイト上の「FAQ」または「よくあるご質問」(<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>) を参照した上で、E-サービスサポートセンターへお問い合わせください。

日本語サイト: <https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>

英語サイト: <https://e-shiharai.net/English/sss/FAQ.html>

納入期間

2025年6月12日(木) から 2025年6月26日(木) 14:00まで

入学考査料の免除制度について

自然災害被災者に対して、大学院入学試験の入学考査料を免除する制度がありますので、**考査料の納入前に**東京都立大学都市環境学部教務係へ問い合わせてください。(電話 042-677-1111 内線 4026)

対象となる災害は以下のとおりです。

- ①東日本大震災
- ②令和2年7月豪雨
- ③令和6年能登半島地震

※詳細については、本研究科ウェブサイト (<https://www.ues.tmu.ac.jp/graduate.html>) 内「入学考査料の免除制度について」に掲載の内容をご覧ください。

入学考査料の返還手続案内

入学考査料を振り込んだが出願しなかった場合、又は入学考査料を誤って二重に振り込んだ場合は、入学考査料の返還を申請することができます。

詳細は、本学のウェブサイト (https://www.tmu.ac.jp/campus_life/tuition/expenses.html) をご確認ください。

「トップページ」→「入試案内」→「大学院入試」→「入学考査料・入学科・授業料」

10 試験日程等

(1) 出願受付期間

2025年6月19日（木）から6月26日（木）まで（6月26日必着）

* 出願は、**郵送のみ**受け付けます（宅配便、バイク便等は受付不可）。

事務室の窓口では受け付けません。

* 出願者は「7 出願手続書類」に記載の出願書類一式を取りそろえ、角2サイズの封筒に入れて必ず「**簡易書留**」及び「**速達**」扱いにして**郵送**してください。封筒のおもてには、必要事項を記入した「出願書類送付用ラベル」を貼付して送付してください。

* 「出願書類送付用ラベル」は本募集要項に添付のものをカラーで印刷してください。モノクロ印刷の場合は、「速達」「簡易書留」の文字と線を赤ペン等でなぞってください。

(2) 受験票の送付

出願書類の確認・受理後、受験票を発送します。

2025年7月17日（木）までに受験票がお手元に届かない場合は、東京都立大学都市環境学部教務係まで連絡してください。（電話 042-677-1111 内線 4026）

【注意】試験当日は、必ず受験票を携帯してください。

(3) 選考日程及び試験科目

各学域のページを参照してください。

(4) 選考方法

選考は、提出された書類の審査及び学力試験、面接等の結果により行います。

(5) 合格発表

①日 時：**2025年8月27日（水） 11：00**

②発表場所：東京都立大学大学院 都市環境科学研究科ウェブサイト
<https://www.ues.tmu.ac.jp/>

【注意】

※電話による可否の問い合わせには応じられません。

※都市環境科学研究科の夏季入試に合格した者は、当研究科の冬季入試には出願できません。

(6) 合格通知書の交付

出願時の住所（連絡用宛名カードに記載の住所）に合格通知書を郵送いたします。転居などにより送付先が異なる場合には都市環境学部教務係へ申し出てください。2025年9月1日（月）までにお手元に届かない場合は、東京都立大学 都市環境学部教務係まで連絡してください。（電話 042-677-1111 内線 4026）

11 入学手続、入学料及び授業料等

(1) 入学手続

合格者について、9月初旬(予定)に、入学手続を開始します。入学手続の方法等については、合格通知書送付時に周知いたします。送付する資料を参照して遺漏なく手続をしてください。これらの手続を怠ると入学を許可しません。

入学手続期限：2025年9月5日(金)(予定)

(2) 入学料及び授業料

入学料

- ・東京都の住民(*) 141,000 円(金額は予定)
- ・上記以外の方 282,000 円(金額は予定)

授業料

年 額 520,800 円 (2024 年度現在*)

*入学時又は在学中に授業料の改定があった場合には、改定後の金額が適用されます。

*授業料には、減額又は免除の制度があります。

入学料は、入学手続を行うときに納入してください。

本学ウェブサイト (https://www.tmu.ac.jp/campuslife_career/expenses.html) を確認してください。

東京都立大学ウェブサイト トップページ>>入試案内>>学部入試>>入学考査料・入学料・授業料

入学料及び授業料については、高等教育の修学支援新制度及び本学独自の授業料減免制度があります。詳細については本学学生課ウェブサイト (<https://gs.tmu.ac.jp/exemption/>) をご確認ください。

なお、東京都の子育て世帯に向けた授業料の支援(授業料実質無償化)についても、対象者は、上記学生課ウェブサイトを確認し、必ず期日までに申請してください(申請がない場合は対象となりません。)

【入学料及び授業料の減免に関する問い合わせ先】

学生課厚生係

042-677-2373 (直通)

genmen-bunnou@jmj.tmu.ac.jp (減免)

(3) 奨学金制度

入学後、「日本学生支援機構」の奨学生に採用された方には「奨学金」が貸与されます。

また、本学には「大学院生支援奨学金(原則返還不要)」の制度があります。

12 過去に出題された問題の閲覧及び入手方法について

東京都立大学大学院 都市環境科学研究科のウェブサイト (<https://www.ues.tmu.ac.jp/graduate.html>) の「過去問題の配布について」をご確認ください。ご不明点等がある場合は、東京都立大学 都市環境学部教務係へお問い合わせください(電話 042-677-1111 内線 4026)。

13 長期履修制度について

本学大学院では、学生が、職業を有している等の事情により標準修業年限(博士前期課程2年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度を設けています。

入学時に長期履修を認められた学生は、標準修業年限において支払う授業料の総額を、認められた長期在学期間に分割して支払うことができます。

※詳細につきましては、研究科ウェブサイト (<https://www.ues.tmu.ac.jp/graduate.html>) の「長期履修制度について」を必ずご参照ください。

<対象者>

以下のいずれかの理由により、標準修業年限内での修業が困難な者

- (1) 職業を有している者
- (2) 出産、育児、介護を行う必要がある者
- (3) その他、研究科において適当と認める者

<申請方法等>

入試出願時に申請を行い、合格通知とともに長期履修制度の利用の可否を通知します。以下の書類を出願時に提出してください。なお、事前に必ず指導（予定）教員に申請書を提示し、署名及び押印を受けてください。

- (1) 長期履修申請書（本研究科所定様式）：研究科ウェブサイト（<https://www.ues.tmu.ac.jp/graduate.html>）からダウンロードしてください。
- (2) 長期履修が必要であることを証明する書類（在職証明書や母子手帳等）

<学域別試験日程・注意事項等>

全学域共通の出願及び入学試験に関する注意事項は裏表紙に記載していますので、必ず確認してください。

地理環境学域

◎ 試験日程、試験科目、試験時間及び注意事項

日 程	試 験 科 目	試 験 時 間	配 点
7月 24日(木)	外国語（英語）	9:00～10:30	120
	専 門 科 目	11:00～12:30	120
7月 25日(金)	面接（口頭試問を含む）	9:00～	60

- ・面接（口頭試問を含む）… 面接では、卒業論文またはこれに相当する研究、および博士前期課程での研究計画についての口頭発表（10 分以内）を課す。
発表方法は、レジュメ配布、PC プロジェクター使用のいずれでもよい。PC プロジェクター使用の場合、面接会場の Windows の PC に PowerPoint がインストールされているので、発表原稿を入れた USB メモリを持参してもよい。なお、Mac の PC を使う場合には、USB メモリとともにパソコン及び Mac 用のプロジェクターケーブルも持参すること。
- ・10 月入学試験においては筆記試験免除の制度はない。

都市基盤環境学域

◎ 試験日程、試験科目、試験時間及び注意事項

日 程	試 験 科 目	試 験 時 間	配 点
7 月 24 日(木)	専門科目 (一)	9:00～10:30	200
	専門科目 (二)	11:00～12:00	100
	面接 (口頭試問を含む)	13:30～	100
—	外国語 (英語) *	—	100

- ・ 専門科目 (一)：数学 (微分積分、線形代数)
- ・ 専門科目 (二)：小論文 (都市基盤環境学に関するテーマについて、問題文 (英文を含む) に対する、1,000 字程度の論述解答。英語での論述解答も可)
- ・ 面接：一部、英語での口頭試問を含む

* 対象スコア：TOEFL、TOEIC (スコアは 100 点満点に換算される)

〈注意事項〉

- 1 必ず、事前に希望する指導教員に研究内容などについて相談のうえ出願手続を行うこと。
- 2 募集人員は、各指導教員若干名とする。
- 3 10 月入学試験においては筆記試験免除の制度はない。

建 築 学 域

◎ 試験日程、試験科目、試験時間及び注意事項

日 程	試 験 科 目	試 験 時 間	配 点 ^{*1}	配 点 ^{*2}
7 月 24 日(木)	専門科目 (一)	9:00～12:00	300	200
	専門科目 (二) (建築設計)	13:30～15:30 ^{*3}		100
7 月 25 日(金)	面接 (口頭試問を含む)	13:00～	100	100
—	外国語 (英語) ^{*4}	—	100	100

*1 専門科目 (二) を受験しない場合の配点。

*2 専門科目 (二) として「建築設計」を選択した場合の配点。

*3 専門科目 (二) (建築設計) は、受験者数により終了時刻が延びることがある。

*4 対象スコア：TOEFL、TOEIC

スコアは学域内基準に基づき 100 点満点に換算される。ただし、TOEFL-iBT で 40 点未満、TOEIC で 400 点未満の場合は不合格とする。TOEFL-iBT で 83 点以上、TOEIC で 750 点以上は満点扱いとする。

〈注意事項〉

- ・次ページの「建築学域志望者への注意」を熟読すること。
- ・試験では、電卓 (四則演算、関数機能までのもの。プログラムを組めるものは不可)、定規及びコンパス使用を許可する。辞書等の持ち込みは不可。

建築学域志望者への注意（2025 年度）

1. 専門科目（一）について

専門科目(一)の問題は、次表の 6 グループ、12 分野から各分野 2 問ずつ、計 24 問出題されます。例えば、A グループからは、微分積分の分野から 2 問、線形代数の分野から 2 問の計 4 問が出題されます。この 24 問のうち、5 グループから 2 問ずつ、さらに残った 14 問から 5 問の計 15 問を選んで解答します。各グループから 2 問選択するとき、例えば A グループでは、微分積分から 1 問、線形代数から 1 問としてもよいし、微分積分または線形代数のみ 2 問でもかまいません。

なお、15 問を超えて解答することもできます。ただし、その場合の得点は全合計ではなく下記の(1)及び(2)の合計とします。

- (1) 各グループごとに得点が高い順に 2 問抽出し、その合計が高いものから 5 グループ 10 問を選ぶ。
- (2) 残った 14 問から得点が高い順に 5 問を選ぶ。

なお、問題の選択は試験時に行いますので、事前の調査は行いません。また、各問の配点は均等です。

グループ	出 題 分 野
A	微分積分*1、 線形代数*1
B	構造力学、 建築構造学*2
C	建築材料学、 建築構法・生産学
D	建築環境学、 建築環境システム
E	建築計画学、 都市計画学
F	建築史学、 建築意匠・設計学

*1 大学教養数学程度を出題範囲とする。

*2 鉄骨造、RC造、木造、振動学を出題範囲とする。

2. 専門科目（二）について

専門科目（二）として「建築設計」の科目を選択することができます。「建築設計」の科目を選択する場合、研究計画書の専門科目（二）で「建築設計」の欄に丸印を記入してください。「建築設計」では、ポートフォリオ（A2 版クリアファイル 20 頁程度、共同での作品は 2 点までとし、ポートフォリオ内に明記しておくこと。）を用いた口頭試問を含む試験を行うので、試験時にポートフォリオを持参してください。

3. 研究計画書について

建築学域を志望する者は、研究計画書（本研究科様式）を出願手続時に提出する必要があります。

- ① 第 1 志望・第 2 志望の欄には、指導教員名を記入してください。
- ② 専門科目（二）の欄では、志望する教員と相談のうえ、「受験しない」、「建築設計」の 2 つの中から 1 つに○をつけてください。出願以降に変更することはできません。
- ③ 研究計画の欄には、あなたが博士前期課程において探究したい課題の内容と探究方法を記入してください。形式は自由とします。第 2 志望のある場合は、必ず裏面に第 2 志望での研究計画を記載してください。記入に当たっては、第 1 志望、第 2 志望ともに志望する教員に事前に連絡を取り十分に相談してください。

研究計画の内容によっては指導の都合上受け入れられないこともあります。面接では研究計画書の内容についても審査します。

なお、ワードプロセッサの使用を可とします。両面複写したものを提出しても結構です。ただし別紙の貼付け(枠内含む)、添付はできません。

4. 指導予定教員との事前面談と出願同意書の提出について

10月入学を希望する者は、出願前に指導予定教員と綿密な相談・検討のうえで、出願時に当該教員が作成した出願同意書（本研究科様式）を提出してください。

5. その他の注意事項

①募集人員は若干名とします。

②第2志望のない人は、入学願書及び研究計画書の第2志望の欄に「なし」と記入してください。

環境応用化学域

◎ 試験日程、試験科目、試験時間及び注意事項

日 程	試 験 科 目	試 験 時 間	配 点
7 月 25 日(金)	面接（口頭試問を含む） *1	13:00～	200
—	外国語（英語） *2	—	100

*1 面接（口頭試問を含む）について：卒業論文または最近の研究成果の概要について自分のコンピューターを持参して発表する(10 分程度)。その後、発表内容および化学全般について質疑応答を行う。なお、プロジェクターおよび各自のコンピューターとの接続ケーブル（HDMI 及び RGB 端子あり）は面接室に用意されている。

*2 対象スコア：TOEFL、TOEIC（スコアは 100 点満点に換算される）

観光科学域

◎ 試験日程、試験科目、試験時間及び注意事項

日 程	試 験 科 目	試 験 時 間	配 点
7 月 24 日(木)	小 論 文*1	9:00～11:00	100
	専 門 科 目*2	12:30～14:30	100
7 月 25 日(金)	面接（口頭試問を含む）	9:30～	100
—	外国語（英語） *3	—	100

*1 観光に関する質問、及び研究希望テーマの 2 題につき、日本語又は英語で記述する。

*2 都市計画・まちづくり学、交通学、観光マーケティング学、観光行動科学・観光情報学、観光経済学、地理学、生態学・環境科学から一科目を選び日本語又は英語で解答する。

*3 対象スコア：TOEFL、TOEIC、IELTS（スコアは 100 点満点に換算される）

都市政策科学域

◎ 試験日程、試験科目、試験時間及び注意事項

日 程	試 験 科 目		試 験 時 間	試 験 内 容 等	配 点
7月 24日(木)	筆答試問 *1	小論文	9:00～11:00	都市に関するテーマについて小論文にまとめる。	100
		専門科目	12:30～14:30	希望する分野に関する専門知識を問う。	100
7月 25日(金)	面接（口頭試問を含む）*2		13:00～	口頭試問面接票、研究希望調書等に基づいて口頭試問を行う。	100
—	外国語（英語）*3 *4		—	—	100

*1 辞書・電卓等の持ち込みは不可。

*2 面接（口頭試問を含む）の時間については、受験者数等の都合により変動する場合がありますので、前日の筆答試問の際の伝達事項に十分注意すること。

*3 対象スコア：TOEFL、TOEIC、IELTS（スコアは100点満点に換算される）

*4 社会人特別選抜については、外国語試験を行わない。

〈注意事項〉

- 1 募集人員は、原則として、各指導教員4名以内とする。
- 2 必ず事前に、指導を希望する教員に研究内容などについて相談のうえ出願手続を行うこと。

都市政策科学域「社会人特別選抜」受験希望者の方へ

都市政策科学域は、複雑化する都市問題を幅広く総合的にとらえ、独創的な調査研究を通して探究し、都市政策の進展と都市問題の解決に寄与できる人材の育成を目的としています。特に、国・自治体や民間企業等で働く中で都市にかかわる現実の課題に直面し、大学院で専門的な研究を行おうとする社会人、修士論文の研究計画に直接つながるような活動をしている社会人等を受け入れます。必ず指導希望教員の同意を得た上で出願をしてください。

1 募集人員

都市政策科学域の募集人員 15 名のうち若干名程度とします。

2 社会人特別選抜出願資格

社会人としての経験と関連した修士論文の研究計画を有する者で、「4 出願資格」(p.6) の(1)から(10)のいずれかに該当し、かつ次に掲げる①又は②の条件を満たす方。

① 出願時に 2 年以上の職歴を有し、かつ定職（アルバイトを除く）に就いている者

② 入学時（2025 年 10 月 1 日）において、大学卒業後 5 年以上経過している者

3 出願資格審査

「4 出願資格」(p.6) の(3)から(7)、(9)及び(10)により出願しようとする方は、出願に先立って資格審査を行います。下記要領で書類を提出してください。

(1) 提出書類

ア 履歴書（本研究科所定様式）

イ 最終学歴卒業（見込）証明書（コピーは無効。日本語表記以外は日本語又は英語訳を添付のこと）

ウ 最終学歴成績証明書（コピーは無効。日本語表記以外は日本語訳を添付のこと）

エ 志望理由書（本研究科所定様式）（社会人としての経験と修士論文の研究計画の関連を明記）

オ 上記「社会人特別選抜出願資格」の①に該当し定職に就いている場合は、在職を証明する書類（身分証明書、健康保険証等のコピー）

カ 外国人の方は、「住民票記載事項証明書」（コピーは無効。出願以前 3 ヶ月以内に発行されたもの）

なお日本国内で住所が定まっていない方はパスポートの写しを提出してください。

キ 申請者の宛先を明記した封筒（長形 3 号、たて 23.5cm × よこ 12.0cm。速達料金を含む 410 円（料金が改定された場合は改定後の料金）分の切手を貼付してください。審査結果を本研究科から志願者に送付する際に使用します）

(2) 受付期間

2025 年 5 月 15 日(木)から 5 月 22 日(木)まで（5 月 22 日必着）

(3) 提出先

東京都立大学 都市環境学部教務係（〒192-0397 八王子市南大沢 1-1）

* 「簡易書留」及び「速達」扱いにして郵送することとし、封筒（角形 2 号、A4 サイズが折らずに入る大きさ）の表面左脇に

『都市環境科学研究科 博士前期課程 都市政策科学域 社会人特別選抜出願資格審査申請』と明記してください。

(4) 出願資格審査書類の請求方法

都市環境科学研究科ウェブサイト (https://www.ues.tmu.ac.jp/review_application.html) からダウンロードしてください。

(5) 資格審査の結果は申請者あてに通知します。なお、「出願資格審査」を受けなかった方は、出願後、受験不適格の理由で受験を許可されないことがあります。

4 出願時提出書類

「4 出願資格」(p.6) の(1)、(2)及び(8)により、出願資格審査の必要がなく出願しようとする方で、上記「社会人特別選抜出願資格」の①に該当し定職に就いている場合は、在職を証明する書類（身分証明書、健康保険証等のコピー）を、p.9-10 の「7 出願手続書類」の提出書類と一緒に提出してください。

I 出願及び入学試験に関する注意事項

- 1 出願書類を送付する前にもう一度記入漏れがないか確認してください。
- 2 出願は、本学学生、他大学の学生等を問わず郵送のみ受け付けます。
- 3 試験会場・面接受験者控室等の案内は、試験当日に 11 号館前に掲示します。
(本冊子裏表紙の「南大沢キャンパス案内図」を参照してください。)
- 4 試験当日は、必ず受験票を持参してください。
- 5 試験当日は、試験開始 20 分前までに定められた試験会場に入室を済ませてください。
なお、試験会場の開室は試験開始の 1 時間前からとなります。
- 6 試験開始後 30 分以上遅刻した場合は、受験することができません。
なお、交通機関の遅延等やむを得ない場合は、受験を許可することがあります。
- 7 携帯電話やウェアラブル端末を時計として使用することはできません。
なお、試験中は携帯電話等の電源を切っておいてください。
- 8 以下の場合には受験失格となります。
 - (1) 1 科目でも受験しなかった者(外国語(英語)の試験においてスコアを提出しなかった者も含む)
 - (2) 不正行為を行ったと認められる者
 - (3) 以上のほか、注意を守らなかったり、係員の指示に従わなかった者

II 個人情報の取り扱いについて

東京都立大学では、個人情報について以下のとおり法令に基づき取り扱いますので、あらかじめご了承ください。

- (1) 本学への受験の際にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、入学志願者選抜(出願処理、選抜実施及び合格発表)及び入学手続を行うために使用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成等に使用することがあります。
- (3) 合格者に対して、入学意思確認等の理由で連絡することがあります。

〈問い合わせ先〉

東京都立大学 都市環境学部教務係

(南大沢キャンパス 9 号館 2 階)

☎ 042-677-1111(代表) 内線 4026

受付時間 9:00~17:00

(但し、12:30~13:30 を除きます。)

2025 年 5 月発行

発行：東京都立大学大学院都市環境科学研究科 〒192-0397 東京都八王子市南大沢一丁目 1 番地

都市環境科学研究科入学願書/Application Form for Admission of Urban Environmental Sciences

博士前期課程/Master's program

10月入学

試験区分	夏 季 入 試 /Summer Exam		受 験 番 号
該当の試験に○印をつけること。	冬 季 入 試 /Winter Exam		※記入しないこと/Leave here blank
学域及び選抜 志望の学域名に○印をつけること。都市政策科学域希望者は該当の番号を○で囲む。 /Desired Department	地理環境学域 /Geography		
	都市基盤環境学域 /Civil and Environmental Engineering		
	建築学域 /Architecture and Building Engineering		
	環境応用化学域 /Applied Chemistry for Environment		
	観光科学域 /Tourism Science		
	都市政策科学域 /Urban Science and Policy	1. 一般選抜 2. 社会人特別選抜 /General Selection /Special Selection for Working Adults	
ふ り が な/Phonetic	氏名英文表記(外国人のみ) /Name in English		男 ・ 女 Male Female
氏 名 /Name			
生年月日/Date of Birth	西暦 年 月 日 生 (入学予定時年齢 歳) YYYY MM DD (Age as of entrance)		
出 身 大 学 /Name of university last attended or attending	国立 ・ 公立 ・ 私立 ・ 海外 (National/Public/Private/Others *choose one) 大学 学部 学科(系・コース) 専攻 西暦 年 月 日 卒業 ・ 卒業見込		
現 住 所 ・ 連 絡 先 /Current Address and Contact Information	〒		
	電話番号(携帯)/Phone number:		
	電子メールアドレス/Email address:		
その他連絡先 /Other Contact Information	※上記以外で、本人と速やかに連絡がとれる電話番号・携帯電話・電子メールアドレス等 /Other contact information which can be reached promptly for you		
	電話番号(携帯)/Phone number:		
	電子メールアドレス/Email address:		
志望する学域の分野について (募集要項「3 指導教員及び研究分野」コード欄を参照して、該当するコードを記入すること) /Desired Field	第一志望コード Code of your first choice		
	第二志望コード Code of your second choice		
長期履修制度利用希望の有無 /Do you want to use the Long-Term Study System?	有 ・ 無 Yes No		

(注) 裏面も記入すること。*Continued on reverse side

履 歴 /Curriculum vitae

		入学年月日(entrance date)	卒業(見込)年月日 (guraduation date)	学校名※1(Name of School)	
学歴 Educational background	小学校 /elementary school	西暦 年 月	西暦 年 月		
	中学校 /junior high school	西暦 年 月	西暦 年 月		
	高等学校 /high school	西暦 年 月	西暦 年 月		
	大学 /university	西暦 年 月	西暦 年 月		
			以上を通算した学校教育修学期間※2 /Total years of education		年
			授与された又は授与される見込みの学位 /Name of Degree		

※1 転校などにより入学した学校と卒業した学校が異なる場合には卒業した学校名を記入
※2 見込の場合は卒業した場合の修学期間を記入

卒業論文題名 ※予定でも可 /Title of Graduation Thesis			指導教員 /Name of Supervisor	
職歴 Employment History	西暦 年 月 ～ 年 月			
	西暦 年 月 ～ 年 月			
研究業績 Research Achievements	西暦 年 月			
	西暦 年 月			
	西暦 年 月			
	西暦 年 月			
資格 Qualifications	西暦 年 月			
	西暦 年 月			

※3 欄が不足する場合、一欄に複数行にわたって記入しても構わない。
If there is insufficient space, you may fill in multiple lines in the same column.

博士 前期課程	試験区分（一般・社会人）	2025年度 都市環境科学研究科 博士前期課程 学力試験 受験票 Admission ticket

(写真)

1 上半身無帽正面
向きで出願3ヶ月以内に
単身撮影したもの。
2 4cm×3cm
3 写真裏面に氏名を
記入のうえ、全面のりづ
けすること。
4 過度な加工を施さないこと

受験番号
※記入しない

志望学域
Desired
Department

第一志望コード
Code of your first
choice

ふりがな

氏名
Name

10月入学

博士 前期課程	試験区分（一般・社会人）	2025年度 都市環境科学研究科 博士前期課程 学力試験 写真票 Photo card

(写真)

1 上半身無帽正面
向きで出願3ヶ月以内に
単身撮影したもの。
2 4cm×3cm
3 写真裏面に氏名を
記入のうえ、全面のりづ
けすること。
4 過度な加工を施さないこと

受験番号
※記入しない

志望学域
Desired
Department

第一志望コード
Code of your first
choice

ふりがな

氏名
Name

10月入学

【入学考査料 証明書貼付用台紙】

Proof of application screening fee payment

《日本語サイトからの支払いの場合》
①コンビニエンスストアのレジ支払いを利用した場合
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の
「収納証明書」部分を切り取り、右の枠内に貼付して
ください。
②その他オンライン決済等で支払った場合
E-支払いサイトから収納証明書を印刷する場合は、一部を
切り取って貼付してください。

《英語サイトからの支払いの場合》
③印刷した「Result page」をそのままの状態
で他の出願書類と一緒に提出してください。
この台紙には貼付しないでください。

出願者氏名/Name:
貼付欄/Attach below

【連絡用宛名カード Contact name & address card】

〈住所 address〉	
〈氏名 name〉様	
受験番号	※

〈住所 address〉	
〈氏名 name〉様	
受験番号	※

- ・合格通知書や入学手続き類の送付に使用します。

This information will be used to contact/notify you regarding matters related to your admission documents, etc.

- ・2 枠ともに、出願者の郵便番号・送付先住所・氏名を記入してください。

Please write the applicant's postal code, mailing address and name in both boxes.

- ・「様」は消さないでください。Do not cross out "様".
- ・※欄には記入しないでください。Do not fill in the "※" column.

【連絡先登録フォーム Contact Registration Form】

手書き書類の読み間違い防止のため、以下の QR コードまたは URL から、連絡先等の登録をお願いします。登録完了後は、必ず下部の□にチェックをつけてください。

Please register your contact information either through the QR code or URL and tick the box (□).

□私は以下のフォームからメールアドレスと電話番号を登録しました。
(チェック(☑)してください)

(日本人用)



<https://forms.office.com/r/diXxemYizZ>

(外国籍者用／For foreign students)



<https://forms.office.com/r/3DsGaWGVd5>

10月入学

2025年度 都市環境科学研究科 博士前期課程入学試験

出願資格（3）又は（4）による志願者調査票

受験番号

※

※記入しないこと

氏名 Name

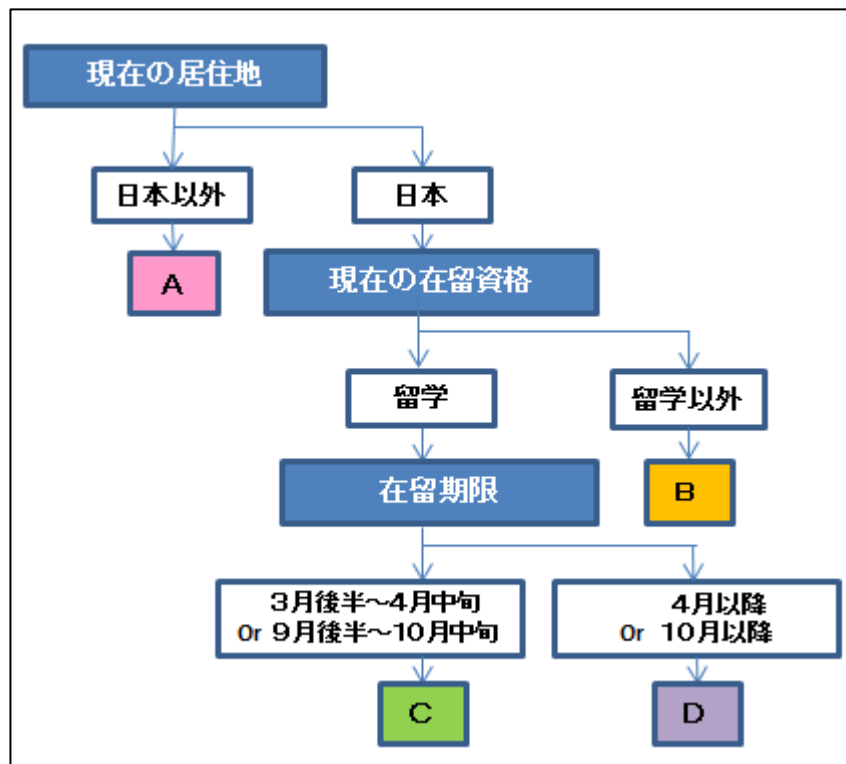
姓 Surname	名 Given Name	ミドルネーム Middle Name
アルファベット Alphabet		
姓 Surname	名 Given Name	ミドルネーム Middle Name
自国語 Native Language		

最終学歴校の専攻における専門分野（できるだけ具体的に詳細に書くこと）、取得した資格（ディプロマ等）、他特記事項

Field of Specialization studied at the institution you graduated (or expected to graduate) (Be as detailed as possible), Diploma etc., and Remarks

留学ビザ取得・更新サポート申込書

※在留資格について確認しますので、東京都立大学に出願する留学生は全員この調査票に記入し、提出してください。



A : すぐに留学ビザの申請が必要です。合格後入学の意思のある学生に対し、在留資格認定証明書 (COE) を本学が入国管理局へ代理申請します。詳細な手続き及び案内は、入学試験合格後に国際課よりメール連絡します。

B : 「留学」資格に変更を希望される方は在留資格変更手続きが必要です。入学後、合格証明書、授業料支払を行った払込票、在留カード、学生証をもって国際課へ来てください。

C : すぐに在留期間更新手続きが必要です。合格証明書、授業料支払を行った払込票、在留カードをもってお早めに国際課に来てください。
3 or 9月以前に切れる場合、前の所属機関で更新が必要です。

D : 所属機関の変更手続きが必要です。詳しくは入学後の新入生オリエンテーションでお話しします。

★あなたに該当するのは (A・B・C・D) A B C Dに当てはまらない方は下記へお問い合わせください。

COE 交付申請・在留資格の変更申請・在留期間の更新申請は、入国管理局で個別に審査していますので、必ずしも許可が下りるとは限りません。また入学日に間に合わない場合もあります。その場合、東京都立大学は責任を負いません。

氏名 (アルファベット)			
漢字氏名 (漢字圏の学生のみ)			
生年月日	性別	年 月 日	女性 ・ 男性
国籍			
在留資格		なし ・ あり (在留資格 :)	
在留期限 (ありと回答した場合)		年 月 日 まで有効	
現所属機関 (学校・会社等)			
過去の在留資格認定証明書 または査証申請歴		交付 ・ 不交付 ・ 不使用 ・ 取り下げ ・ 無 期間 _____ 在留資格 _____	
連絡先住所			
メールアドレス (丁寧に記入してください。)			
連絡先電話番号 (国際電話も可)			
入学希望の学部 (系)・研究科名		都市環境科学研究科 学域	
入学希望の課程		博士前期 ・ 博士後期	
希望する指導教員名			

問い合わせ先：国際課

(E-mail) tmu-coesupport@jmj.tmu.ac.jp

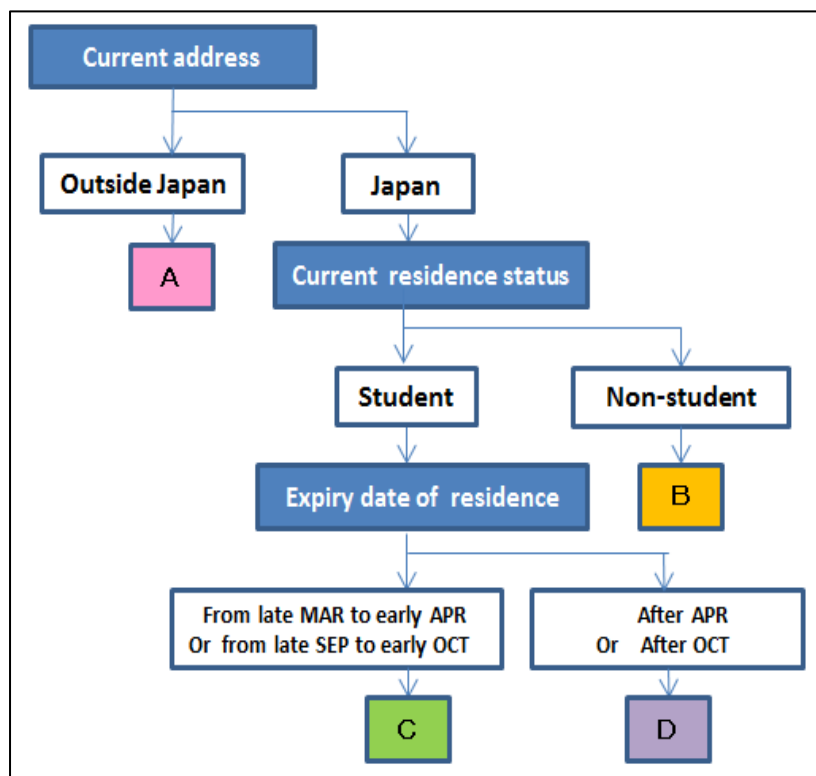
(電話番号) 042 - 677 - 2030 (直通)

本人署名：

(記入日： 年 月 日)

STUDENT VISA SUPPORT REQUEST FORM

Please be sure to submit this form along with your admission application documents to the academic affairs office of your desired graduate school (graduate admission). All students are required to submit this form.



Category A: You have to apply for a student visa as soon as possible. If you have the intention to enroll in TMU after passing the entrance exam, you need to obtain a Certificate of Eligibility (COE) for visa application. TMU applies for it to Japan's Immigration Bureau on behalf of you. The International Affairs Office will contact you to give information about further procedures after you pass the exam.

Category B: For those who want to change your status to 'student', you need to apply for a change of the Status of residence. After being enrolled in TMU, please come to our International Affairs Office with your student ID, residence card and the receipt for your tuition payment you made to the University.

Category C: You need to apply for an extension of the period of stay soon. Please come to our international affairs office with your student ID, residence card and the receipt for your tuition payment. If your period of stay is expired before March or September, you have to extend at the previous educational institution/employer.

Category D: You need to change the accepting institution to our university from the previous one. Further information about procedures will be provided at orientation for newly enrolled students.

Which do you fall under, Category A, B, C or D? Those who do not fall under any of the categories please contact us.

(NOTE): Applications for a COE, change of the status of residence and extension of the period of stay are screened case by case, therefore, permission is not always given. There is also a possibility that the permission is not given by the enrollment date. In these cases, TMU is not responsible.

Name (in English alphabets)			
Name (in <i>Kanji</i> if any)			
Date of birth	Gender	(Year)/ (Month)/ (Day)	Male / Female
Nationality			
Status of residence (If applicable)		Yes / No (Type of Visa:)	
Expiry date of status of residence		Valid until (Year)/ (Month)/ (Day)	
Current educational institution/employer			
Regarding your history of Certificate of Eligibility or visa application, check the ones applicable.		Issued / Denied / Not used / Withdrawn / None Duration _____ Status of Visa _____	
Contact address			
E-mail address (should be legible)		@	
Contact phone No. (International phones applicable)			
Name of desired faculty (school) / graduate school		Graduate School of Urban Environmental Sciences,	
Desired course		Master's / Doctoral	
Desired academic advisor			

Contact: International Affairs Office

E-mail: tmu-coesupport@jmj.tmu.ac.jp

Phone: 042-677-2030 (direct)

Signature of Applicant:

(DATE Y / M / D)

10月入学

2025年度 都市環境科学研究科 博士前期課程入学試験

受験番号

地理環境学域 研究計画書

※

※記入しないこと

ふりがな	
受験者氏名	

研究計画（Word版入力が望ましいが、やむをえない場合は手書きでも可。）

（裏に続く）

都市基盤環境学域 志願調査書

受験番号

※

※記入しないこと

注意)必ず、事前に希望する指導教員に研究内容などについて相談のうえ出願手続きを行うこと。

氏名		志望指導教員氏名	
本学域に入学し研究を行いたいと考えた動機			
卒業論文の研究概要および志望する今後の研究課題			
年 月		職 歴	
年 月		学会、協会、その他における活動、資格その他特記すべき事柄	
業績一覧			
発表論文名等		掲載誌（頁）	発行年月

10 月入学

2025 年度 都市環境科学研究科 博士前期課程入学試験

受験番号

※

建築学域 研究計画書

「建築学域志望者への注意」をよく読んで記入して下さい。

※記入しないこと

ふ り が な 受験者氏名		専門科目 (二) 1 つに○		受験しない
				建築設計

第 1 志望 コード		第 1 志望 指導教員名		左欄には、基盤研究コースでは指導教員名、プロジェクト研究コースではプロジェクト番号を記入。
---------------	--	-----------------	--	---

研究計画

建築学域 研究計画書（裏面）

受験番号
※

※記入しないこと

第 2 志望 コード		第 2 志望 指導教員名		左欄には、基盤研究コースでは 指導教員名、プロジェクト研究 コースではプロジェクト番号 を記入。第 2 志望がない場合は 「なし」と記入。
研究計画				

建築学域 10 月入学出願同意書

(西暦) 年 月 日

出願予定者

ふりがな

氏 名

生年月日(西暦) 年 月 日 (歳)

国籍

出願希望学域 建築学域

出願について相談があった時期・手段

相談及び面談の内容（出願を受け入れるに至った経緯等）

私は、上記の者が本学大学院都市環境科学研究科 10 月入学試験に出願することを、指導予定教員として同意します。

所属 学域

職名

氏名 印

注意：この同意書は、申請者が東京都立大学大学院都市環境科学研究科 10 月入学試験に出願することに指導教員予定者として同意したもので、入学を許可したものではありません。

環境応用化学域 志望調査書

ふ り が な 受 験 者 氏 名	
----------------------	--

① 志望研究室

本学域では、募集要項の p. 4 に記載のコード（401～410）に対応する教員グループが単位となって研究指導を行います。入学願書には第二志望コードまで記入することになっていますが、以下に第 10 志望までを必ず記入して、入学願書と一緒に提出してください。（第 1、第 2 志望は願書に記載のものと同一であること）指導の都合上、必ずしも第一志望に受け入れられないこともあります。

志望順位	第 1	第 2	第 3	第 4	第 5
コード					

志望順位	第 6	第 7	第 8	第 9	第 10
コード					

② 試験問題の言語選択＜夏季入試受験者のみ記入＞

「有機化学」、「物理化学・無機化学」の問題文は日本語または英語のどちらか一方を選択できます。希望する言語を丸印で囲んでください。

注）提出後の変更はできません。丸印をつけない場合は日本語となります。

日本語

英語

10月入学

2025年度 都市環境科学研究科 博士前期課程入学試験

都市政策科学域 口頭試問面接票

	一 般 ・ 社会人
受験番号	※

2025年度

前

※記入しないこと

博士前期課程		ふりがな 氏 名		男・女 生年月日 年 月 日生 (歳)					
都市政策科学域									
現 住 所		〒							
学 歴	高等学校	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. 海外 高等学校 年 月 卒業							
	大 学	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. 海外 大学 学部 学科 (専攻) 年 月 卒業							
	大 学 院	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. 海外 大学 大学院 研究科 専攻 年 月 修了 見込							
卒業論文又は主として研究しているもの	題 目								
	内 容 の 概 要								
都市政策科学域 志望の理由・動機									
入学後志望する指導教員の氏名	第一志望	コード		第二志望	コード		第三志望	コード	
		指導教員			指導教員		指導教員		

(裏面に続く)

(表面より続く)

入学後に希望する研究内容	題 目			
	内 容 の 概 要			
備 考	現 在 の 職 業	勤務先 職 名	入学後の 継続の有無	1. 継続する 2. 継続しない
	主な職務内容			
	入学の場合の学費の出所	1. 本人 2. 親族 3. その他		
	奨 学 金	いた 受給先（ ）より 1. 受けて いる 月 額 2. 受けていなかった 円		
	奨学金受給希望	1. 希望する 2. 特に希望しない		
	博士前期課程修了後の希望	1. 博士後期課程進学希望 2. 就職希望 a. 学校 b. 研究所 c. 会社 d. その他（具体的に） 3. 現在の職業を継続する 4. その他（具体的に） 5. 未 定		
	そ の 他 参考事項			

◎記入上の注意

*該当箇所を○でかこみ、必要事項をできるだけ詳細に書いてください。

*指導を志望する教員の氏名は、必ず第3希望まで記入すること。

10月入学

2025年度 都市環境科学研究科 博士前期課程入学試験

都市政策科学域 研究希望調書

	一 般 ・ 社会人
受験番号	※

※記入しないこと

2025年度

前

ふりがな 氏 名								
第一 志 望	コード		第二 志 望	コード		第三 志 望	コード	
	指導教員			指導教員			指導教員	

指導を志望する教員の氏名は、必ず第三希望まで記入すること。

都市政策科学域入学後に予定している研究課題、研究計画などを2,000字程度（両面印刷で1枚）にまとめてください。

可能な限り、Word版入力で作成してください（直接印字又は貼り付け）。

--

（裏につづく）

[illegible]

速 達

簡易書留、
速達料金分
の郵便切手
を貼ること

1

9

2

0

3

9

7

東京都八王子市南大沢一丁目 1 番地

東京都立大学管理部理系学務課

都市環境学部教務係
行

簡易書留

〈都市環境科学研究科 博士前期課程〉 10 月入学

志望学域名

学域

受 験 区 分

夏季試験

一 般 選 抜

冬季試験

社会人特別選抜

*志望する学域名等を記入し、該当する受験区分を○で囲むこと。

差
出
人

住 所

〒 ー

氏 名

【入学試験出願書類在中】